

政策	豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実	施策	青少年健全育成の推進	基本事業	心のケアの充実
----	--------------------	----	------------	------	---------

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	区分1	継続	実施計画事業認定	非対象
課名	学校教育支援室	事業終了年度	- 年度	区分2	単独		

事務事業の目的と成果		手段
対象	いじめ・不登校で悩みを抱える児童生徒及びその保護者並びに教育関係者	いじめ・不登校の専用窓口を開設し、専任指導員1名が（月から金の10時から17時まで）電話、面接相談に対応。 ・毎週第1第2第3火曜日午前9時30分から午前11時30分まで、青年センターに臨床心理士を配置し、カウンセリングにあたる。 ・不登校児童生徒を対象に、子ども家庭課とタイアップして、活動場所を移動して体験活動を主としたケア事業のほか、学習活動を主としたスポットケア事業を実施。
意図	いじめ・不登校に悩む児童生徒を支援する。	

事業量・コスト指標の推移							
区分		単位	20年度実績	21年度実績	22年度予算	23年度予算	目標
対象指標1	いじめに悩む児童生徒数（取得困難）	人					
対象指標2	不登校児童生徒数	人	88	93	88	90	
活動指標1	いじめ相談件数	件	12	15	15	15	
活動指標2	不登校相談件数	件	34	37	35	40	
成果指標1	いじめの解消率	%	80	100	80	100	
成果指標2	再登校率	%	19	22	20	25	
単位コスト指標							
事業費計（A）		千円	2,486	2,502	3,076	3,133	0
正職員人件費（B）		千円	10,448	10,373	7,495	6,924	0
<b>総事業費（A）+（B）</b>		<b>千円</b>	<b>12,934</b>	<b>12,875</b>	<b>10,571</b>	<b>10,057</b>	<b>0</b>

事業単独評価、施策内での相対評価、財政状況に基づく改革案（2月時点）	

23年度への業務改善方向性

維持	見直し	新規	休廃止	その他
----	-----	----	-----	-----

維持：現状の目的や方法に変更がなかつ3年度実施する事業  
 見直し：現状の方法や事業量を見直し、成果指標の向上やコスト改善をおこなう事業  
 休廃止：21年度もしくは22年度に「休止」、「廃止」、「終了」する事業  
 新規：23年度より新たに新規事業として実施する事業

		改革方向性（コスト）		
		減少	維持	増加
改革方向性（成果）	向上			
	維持			
	放低置下			